



©SUSUMU.MATSUSITA.ENTERPRISE

地域安全ニュース

くらま

No. 430
発行所
今治地区防犯協会
今治警察署
☎34-0110
FAX31-7001

行楽期の地域安全運動 キャンペーンを実施しました

運動の重点



- 1 盗難被害の防止
 - 乗物の盗難被害防止
 - 空き巣の被害防止
- 2 振り込め詐欺被害の防止
- 3 子ども・女性を対象とした犯罪被害の防止

行楽期の地域安全運動(4月27日～5月6日)期間中、防犯ボランティアの皆さんと一緒に防犯キャンペーンを実施しました。

訪れた買い物客に、「振り込め詐欺に注意」「短時間でもカギかけを忘れずに」等と呼びかけながら、防犯チラシや通帳ケースの配布を行いました。



フジグラン今治(H24. 4. 27)



マックスバリュ今治阿方店(H24. 5. 1)

青パト隊と警察による合同パトロール

出発式を実施しました

「防犯の日」である平成 24 年 5 月 7 日(月)、今治警察署において、青パト隊と警察による合同パトロール出発式を実施しました。

当日は、青パト隊員 20 人が参加し、護身術を学んだ後、青色回転灯を回しながら各地区に向けてパトロールへ出発しました。



今治子供安心パトロール隊
田中会長あいさつ



護身術訓練



パトロールへ出発



夏期における水難事故の防止

夏は、水遊びや水泳等、水に親しむ機会が増え、水の事故も増える時期です。

昨年の県内における水の事故は、

【平成 23 年中】	
○件数	13 件（前年比 -20 件）
○死者	8 人（前年比 -10 人）
○負傷者	1 人（前年比 -8 人）

その内

【6～8月中】	
	6 件
	2 人
	1 人



場所別では海での事故が 13 件中 10 件 (76.9%)、行為別では魚とり（釣り）の際の事故が 13 件中 4 件 (30.8%) とともに多くなっています。

また、夏期（6月～8月中）においては、6 件全てが海での事故で、行為別では、水泳が 3 件と多くなっています。

水難事故を防止するために次のことを心がけましょう。

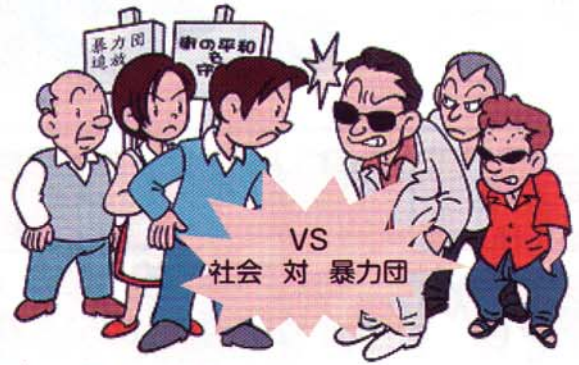
《保護者のみなさん》

- 子供に危険な場所を教え、子供たちだけでは行かせない。
- 一緒にいても油断せず、子供から目を離さない。
- 他のお家の人と泳ぎに行くときは、必ず、行き先、帰宅時間、同行者を確認しておく。
- 河川では、急に水かさが増したり、流れが速くなるなど水の怖さを再確認する。

《地域のみなさん》

- 危険な場所で遊んでいる子供を見かけたら、声をかけてやめさせましょう。
- 地域ぐるみで、河川、用水路やため池等の危険箇所を点検し、危険防止措置を図るよう管理者等に申し入れましょう。

愛媛県暴力団排除条例



平成 22 年 8 月 1 日に

- 青少年健全育成のための暴力団事務所対策
- 暴力団員への利益供与の禁止
- 祭礼等からの暴力団排除対策
- 県の事務及び事業における措置

等を盛り込んだ『愛媛県暴力団排除条例』が施行されました。

今後も、本条例をよく理解していただき、暴力団を社会から排除する気運を高め、これまでの「警察対暴力団」から、「社会対暴力団」という構図にシフトして行くことが大切です。



こころの芽

被害少年サポーター
日浅正恵

『笑顔の力』

ことわざ「笑う門には福来る」が示すように、笑いには不思議な力があります。最近では、科学的にも身体そして心に大変良いと立証されています。確かに、笑った後は、「心」が解放され、頭の中のもやもやが晴れたように明るい気持ちになります。

これは、笑いには、ほほえみでも大笑いでも、その人の脳を刺激し活性化させる力があるからです。更に、他の人の笑顔を見るだけでも、同じ効果があるというのです。自分のためにも他の人のためにも、笑顔でいたいものです。

地域でも、家族でも、笑顔を大切に作る大人たちに囲まれている子供は、その笑顔で脳が活性化し、安定した心が育つと思います。